

## レッドリスト(爬虫類)

レッドリストの改訂対象種				改訂後 ランク	理由	備考	高知県2002 ランク	環境省2017年 ランク
目	科	種	学名					
カメ	ウミガメ	アカウミガメ	<i>Caretta caretta</i>	絶滅危惧Ⅰ類	県内の大半の砂浜の退縮傾向が著しいことなどから主要産卵場の自然回復は見込めないと考えられる。また、沿岸漁業での混獲も問題視されている。		絶滅危惧IB類	絶滅危惧IB類
カメ	ウミガメ	アオウミガメ	<i>Chelonia mydas</i>	絶滅危惧Ⅱ類	本種生育場としての沿岸環境の悪化、漁業での混獲等が問題視されている。			絶滅危惧Ⅱ類
カメ	スッポン	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus sinensis</i>	情報不足	移入個体か在来個体であるかの科学的研究が不十分であること、実態が不明であることなどの理由から改訂前と同様に情報不足とした。		情報不足	情報不足
有鱗	ヤモリ	タワヤモリ	<i>Gekko tawaensis</i>	情報不足	県下では須崎以東と内陸部の情報がほとんど無い。情報不足とした後、情報が蓄積されてもおそらく内陸部の分布を欠く準絶滅危惧相当である。			準絶滅危惧
有鱗	ナミヘビ	タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i>	除外	確認例は少ないが確認された地域は広範囲で、本県での生息個体数は多いものと考えられる。		情報不足	
有鱗	ナミヘビ	ヒバカリ	<i>Hebius vibakari vibakari</i>	除外	確認例は少ないが確認された地域は広範囲で、本県での生息個体数は多いものと考えられる。		準絶滅危惧	
有鱗	ナミヘビ	シロマダラ	<i>Dinodon orientale</i>	除外	確認例は少ないが確認された地域は広範囲で、本県での生息個体数は多いものと考えられる。		情報不足	
有鱗	ナミヘビ	ジムグリ	<i>Euprepiophis conspicillatus</i>	除外	確認例は少ないが確認された地域は広範囲で、本県での生息個体数は多いものと考えられる。		情報不足	